

日刊  
**オール大阪**  
さよなら「維新」vol.7

毎日、新しいニュースをお届けしています

「維新政治」による混乱から決別し

まっとうな  
大阪を取り戻そう

「維新」府政の8年間は どうでしたか？ くらしも経済も しんどい状況が続いているの ではないでしょうか。

大阪府と大阪市の役割は、大阪経済や医療、福祉、教育、防災まちづくりなど、さまざまな政策課題を話し合い、具体化し、くらしと経済をよくすることです。  
「対話」と「協調」の政治に変え、マジメでまっとうな府政をつくりましょう。



- マジメに、大阪。**  
女性が輝く街、大阪
1. 輝ける大阪  
「天・大阪」を取り戻す
  2. 大切なのは「しくみ」  
ではなく「なかみ」です
  3. 不毛な対立から  
対話と協調を

元女性府議

私が考える大阪の  
未来予想図

府内すべての市町村と協調しながら、近畿圏、西日本のリーダーになるには、けんかばかりしてはダメ！ 一人ひとりの暮らしに「心を配る」府政を。



大阪経済の発展へ、中小企業支援を

いま大阪は全国ワーストの落ち込み。地域経済を支えてきた中小企業支援や商店街のにぎわいづくりをすすめ、大阪経済の底上げを。

行き届いた教育や子育て施策の充実を

女性が生き生きと働けるよう保育所の待機児童解消に全力でとりくむ。不登校や暴力件数が多い事態を解消するため、すべての子どもに血の通った教育を。

ムダとキケンな咲洲庁舎の全面撤退を

咲洲庁舎は活性化につながっていない。職員の移動時間も片道40分のムダ、防災拠点になりえない。すみやかに咲洲庁舎から大手前庁舎に集約し、「二重庁舎」解消を。

元女性府議の政策から

ひとづくり

- 乳児期教育の保護者負担の軽減策を検討
- 私立学校(園)の耐震化100%をめざす
- 公募校長制度の見直し
- 受験生のための入試制度に

あんしんづくり

- 待機児童解消に本気で取り組む
- 子ども医療費助成の府費負担の拡大の検討
- 介護施設待機者の解消

まちづくり

- 南海トラフ地震などの防災対策
- 防潮堤の液状化対策
- 密集市街地の解消
- 淀川・大和川の防災対策

大阪の産業を元気に

- 中小企業支援施策をさらに充実させ効果的に
- 商店街のにぎわいづくり

府政の立て直し

- 徹底した中小企業支援で税収UP
- 咲洲庁舎からの撤退・大手前庁舎への機能集約
- 公募部長・公募校長制度の見直し
- 府民のための職員評価制度に
- (府と契約する事業者に一定額以上の賃金の支払いをする)公契約条例の検討